

開館
30周年
記念

浮世絵モダン

深水の美人！ 巴水の風景！ そして…

Shinsui's Beauty! Hasui's Landscape! and…



UKIYO-E MODERN

伊東深水、橋口五葉の美人画や、川瀬巴水、吉田博の風景画……
浮世絵版画の超克を目指して大正初期に登場した
「新版画」を中心とする、創作性の高い伝統木版。
この展覧会ではそれらを「浮世絵モダン」とネーミングし、その魅力に迫ります。

2018年4月21日(土)～6月17日(日) 町田市立国際版画美術館

展覧会趣旨

浮世絵版画は江戸から明治にかけての先端の風俗や流行、出来事、市井の話題などを常に新しい斬新な様式で表した出版物であり美術作品でした。また市場経済と結びつき、庶民が鑑賞できる数少ない絵として流通していました。そのような浮世絵は、いってみれば、当時の庶民にとっての「現代美術」であったわけです。

浮世絵版画の復興を目指して大正初期に登場し、昭和 10 年代まで制作・出版された「新版画」と称する伝統木版(本展ではこれらを「浮世絵モダン」と呼びます)もまた、同時代の芸術思潮と呼応しながら、女性たちの新しい風俗、明治以降にその魅力に気づかされた自然や都市の風景、新作歌舞伎や新派、新劇が普及した大正時代の歌舞伎俳優などを近代的感覚によって表した「現代美術」であったと見なすことができます。その作品内容は、同時代の絵画や彫刻、創作版画などと同様に、時代の表現動向と密接に関係していました。

本展覧会は、2005 年に町田市立国際版画美術館が企画開催し、その成立と展開の見取り図を示した「浮世絵モダン」展の第二弾として、以上のような視点をもとに、「浮世絵モダン」が同時代の社会や芸術などと共鳴しつつ、何をどのように表現したかを探求することを目的として開催するものです。

みどころ その一

全 5 章の構成で、めくるめく「浮世絵モダン」の世界を紹介!

「女性」「風景」「役者」「花鳥」「自由なる創造」の 5 章構成で、浮世絵モダンが何を描いてきたのかを探ります。

みどころ その二

ファン待望、巴水や深水、吉田博ら人気画家の代表作が目白押し!!

スティーブ・ジョブズの愛した川瀬巴水、ダイアナ元妃を魅了した吉田博など、世界的にも評価の高い画家たちの作品が一堂に会します!

みどころ その三

出品総数 約 300 点の大ボリューム!!!

常時約 230 点をご覧ください。

※前期(～5月20日)・後期(5月22日～)で一部展示替えがあります。



展示構成

第I章 女性 —近代美人画の諸相

江戸時代より浮世絵の主要な画題であった美人画は、浮世絵モダンにおいても画家たちが意欲的に取り組んだジャンルでした。日本人として最初に新版画制作に臨んだ橋口五葉や、日本画家の伊東深水、小早川清らは、大正期や昭和初期の芸術思潮、流行の文化、世相などを強く意識しながら、自己の表現を追い求めました。より近代的な女性像を模索し、西洋画のヌードを視野に入れた裸婦も多く描かれています。



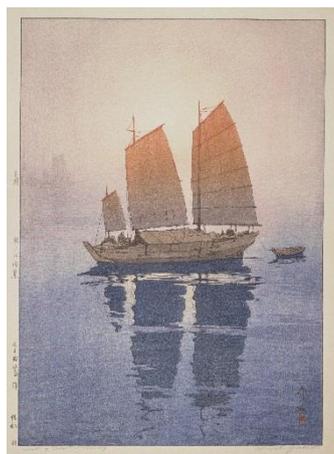
②



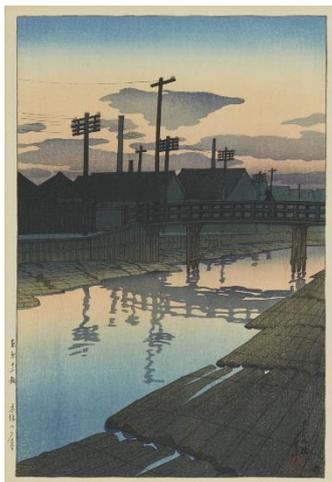
③

② 橋口五葉「浴場の女」1915年、渡邊木版美術画舗

③ 小早川清「近代時世粧ノ内 六 口紅」1931年、千葉市美術館



⑤



④

第II章 風景 —名所絵を超えて

1910年代に制作出版が始まった新版画では、浮世絵にならうようにして風景画が重視されました。最初期には伊東深水が取り組み、その後川瀬巴水が北海道から九州まで旅をしながら自らの観点で風景を選び、抒情的な作品を制作します。さらに水彩画家でもあった吉田博が、自然主義の立場から写実的な作風を確立するなど、浮世絵における名所絵を超えた多様な展開を果たします。

④ 川瀬巴水「東京十二題 木場の夕暮」1920年、渡邊木版美術画舗

⑤ 吉田博「瀬戸内海集 帆船 朝」1926年、個人蔵

第III章 役者 —歌舞伎から新派まで

役者絵は、江戸から明治に至るまで浮世絵に描き継がれてきたジャンルです。1915年、渡邊庄三郎が新版画の制作出版を開始すると、山村耕花と名取春仙がこの分野に本格的に乗り出し、個性の尊重や自我の表出を求める大正期の芸術思潮を反映させた、近代の役者似顔絵を大成させました。耕花は役者の個性を捉えたドラマ性のある似顔絵を発表し、春仙は歌舞伎に加えて明治中期より新たに興った新派の舞台にも取材しました。



⑥



⑦

⑥ 山村耕花（豊成）「梨園の華 十三世守田勘彌のジャン・バルジャン」

1921年、町田市立国際版画美術館

⑦ 名取春仙「水谷八重子 椿姫」1929-35年、渡邊木版美術画舗

第IV章 花鳥 一求められる伝統性とその変容

江戸後期、歌川広重を中心に発展した花鳥版画は、1900年代半ば(明治30年代終り)に新たな展開をみせます。花鳥画を得意とした日本画家おほらこぞん小原古邨の花鳥版画がヨーロッパやアメリカで人気を集め、海外での販売を睨んだ制作出版が行われるようになります。浮世絵の花鳥画を下敷きに、より写実的な情景描写を果たした高橋松亭たかはししょうていや、日本画のような画面を構成した土屋光逸つちやこういつらによって、1930年代(昭和初期)にかけて制作されました。



⑧ おほらこぞん しょうぞん 小原古邨(祥邨)「五位鷺」
明治後期、千葉市美術館



⑨ たかはししょうてい ひろあき 高橋松亭(弘明)「堀きり花菖蒲」
1909-1916年、個人蔵

第V章 自由なる創作 一さまざまな画題と表現

新版画の大きな特徴は、大正から昭和前期の社会や文化、芸能、生活、風俗、文学などに見出した興味を、作品に自由に反映させている点にあります。例えば、1900年(明治33)前後にジャポニスムに刺激されて来日した外国人画家は、浮世絵版画の制作技術を学び、日本の風俗や生活習慣を独創的な様式で表現しました。また大正期、古屋台軒ふるやたいけんが地方に伝わる民族誌的芸能を題材に、また伊東深水が社会の底辺で働く人々の姿を見つめ、抒情的な作品を制作しています。さらに昭和初期には、小早川清こばやかわきよしが関東大震災から復興を遂げた新東京で上演されたレビューの女性ダンサーをモダンに表現し、橋小夢たちばな さゆめがエロ・グロ・ナンセンスの世相を背景に妖艶で幻想的な作風の木版画を制作しました。



⑩ ヘレン・ハイド「かたこと」
1908年、千葉市美術館



⑪ ふるやたいけん 古屋台軒「源氏節」
1922年、個人蔵



⑫ こばやかわきよし 小早川清「ダンサー(レビュー)」
1932年、千葉市美術館

開催概要

展覧会名 開館 30 周年記念 **浮世絵モダン** 深水の美人！ 巴水の風景！ そして・・・

会 期 2018 年 4 月 21 日(土)～6 月 17 日(日) ※前期(～5 月 20 日)・後期(5 月 22 日～)で一部展示替え

休 館 日 月曜日 ただし、4 月 30 日(月・祝)は開館し、5 月 1 日(火)は休館します。

開館時間 平日 10:00～17:00(入場は 16:30 まで)
土日祝 10:00～17:30(入場は 17:00 まで)

会 場 町田市立国際版画美術館 企画展示室 1、2

観 覧 料 一般＝800(600)円、大・高生、65 歳以上＝400(300)円、中学生以下は無料

* ()内は 20 名以上の団体料金。

* 身体障がい者手帳、愛の手帳(療育手帳)または精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方 1 名は半額です。

* 4 月 21 日(展覧会初日)は入場無料です。

主 催 町田市立国際版画美術館、東京新聞

巡 回 先 公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム
2018 年 12 月 6 日(木)～2019 年 1 月 14 日(月・祝)

内覧会のご案内

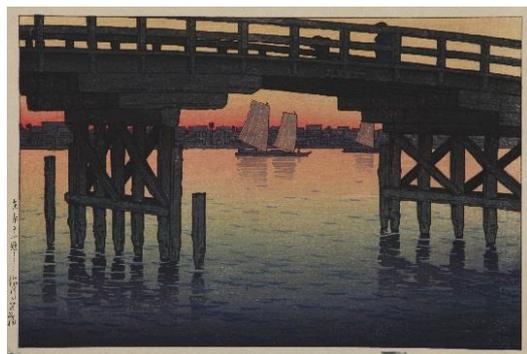
一般公開に先立ち、下記のとおり内覧会を開催いたします。
ご多用とは存じますが、ぜひご出席賜りますようご案内申し上げます。
報道関係の皆様のご出席をお待ちしております。

日時: 4 月 20 日(金) 15:00～17:00 **会場:** 町田市立国際版画美術館

小早川清「近代時世粧ノ内 一 ほろ酔ひ」(部分) 1930 年、千葉市美術館



画像データ・プレゼント用招待券について



⑬ かわせはすい 川瀬巴水「東京十二題 深川上の橋」
1920 年、町田市立国際版画美術館

展覧会広報用に本プレスリリース掲載の画像データ、およびプレゼント用招待券を用意しております。ご利用いただける際は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
※ご希望の画像番号をお知らせください。
※伊東深水「対鏡」(1 頁目に掲載)をご希望の場合は、事前に著作権申請を行っていただく必要があります。

問い合わせ先

広報担当 村瀬 bunspo040_05@city.machida.tokyo.jp
電話 042-726-0860 ファックス 042-726-2840

関連イベント ★詳細および追加情報は当館 HP に更新します。⇒<http://hanga-museum.jp/>

■対談「新版画出版のシナリオ」

講師：岩切信一郎(美術史家)×渡邊章一郎(渡邊木版美術画舗代表取締役)

4月28日(土) 14:00～15:30 1階講堂にて 先着120名

■講演会1「近代美人画の諸相 鏑木清方と新版画の画家」

講師：篠原聰(東海大学准教授)

5月3日(木・祝) 14:00～15:30 1階講堂にて 先着120名

■講演会2「録音で聴く、新版画の時代の歌舞伎役者」

講師：小野迪孝(美術史家)

5月26日(土) 14:00～15:30 1階講堂にて 先着120名

※上記の対談・講演会は本展観覧券(半券可)が必要です。

■プロムナードコンサート「ピアノと尺八による唱歌・童謡のひととき・・・」

後藤泉(ピアノ)、渡辺淳(尺八)

6月2日(土) 13:00～、15:00～ 各回30分程度 エントランスホールにて

※どなたでも鑑賞いただけます。お席の用意はございません。

■Guided Gallery Tours in English

I “The typical landscape of Shin-hanga: How to make a beautiful scenery”

May 19 (Sat.) 14:00～15:00

Lecture by Furuie Mitsuha (Hitotsubashi University, Ph.D. Candidate)

II “Western artist of Shin-hanga —Fusion between East and West, Tradition and Modern, through woodblock prints in the 20th century”

June 9 (Sat.) 14:00～15:00

Lecture by Nagatani Yuko (Keio University, Ph.D. Candidate / SOAS, University of London, M.A.)

*Free of charge, but an exhibition ticket is required.

■館長によるスペシャルトーク 5月27日(日)

■学芸員によるギャラリートーク 4月29日(日)、5月13日(日)、6月10日(日)

※各回とも14:00から45分程度。観覧券をお持ちのうえ、展示室入口にお集まりください。

同時開催 西洋古版画にみる「複製」と「創作」4月11日(水)～6月17日(日) 常設展示室 入場無料

問い合わせ

町田市立国際版画美術館(〒194-0013 町田市原町田 4-28-1)

展覧会担当/滝沢恭司、広報担当/村瀬可奈

電話:042-726-0860 FAX:042-726-2840

メール:bunspo040_05@city.machida.tokyo.jp

